

一般質問



スポーツ・レクリエーションにおける諏訪公園の遊具と多目的広場整備

問 諏訪公園内の遊具には、老朽化が目立つものもあるが、利用者が安心・安全に利用できるような遊具整備の対応は。



小中学生の学力向上

問 本市小学生の学力の現状を聞きたい。

答 小学校で毎年実施する標準学力調査では、平成27年度



(仮称)総合体育館の建設

問 今度の体育館の更新は、新しいものを建てるということですか。

答 現体育館は、老朽化が顕

答 今年度から諏訪公園の遊具の更新に着手したところで、今後も段階的に利用者ニーズを踏まえ、安心で安全な遊具の更新に努めていく。

問 諏訪公園多目的広場の芝生は、28年の夏の日照りで、枯れ込み、残念な姿となった。

過去には、有名な高校がここでサッカーの練習をした際、芝生管理のすばらしさに感心したとの話がある。

芝生の再生に向けてどう進めるのか聞きたい。

答 枯れた芝生は、29年のG

は全国平均をやや上回る50.4ポイントで、過去3年間ほぼ同じ状況を推移している。

問 学力向上に係る人的支援について聞きたい。

答 県の事業として退職教員を活用し「学力アップ支援員」を小学校18校に各1名派遣している。また、本市の学力ブラッシュアップ推進事業の一つとして、「学習サポート」を派遣しており、退職教員や大学生などを活用して実施している。

再発言 今後見込まれる退職

著で、新耐震基準にも適合していない。新体育館には、スポーツ振興はもとより、健康増進やスポーツを通したコミュニケーションの広がり、避難所など今まで以上に市民に愛され、活用される施設となるよう期待しているが、多くの課題もあり、市民の皆さんの合意を得る必要があると考える。

問 財政的な制約の中、理想的な体育館を目指しながら、費用的にコンパクトになるように知恵を集めていくというスタンスで議論を進めてほし

W明けから約3ヵ月間の間に芝の張り替えと養生を行い、芝生の再生を図りたい。

交通安全対策の推進における本市の取組み状況と対応窓口

問 交通安全対策の推進における本市の対応と取り組みは。

答 交通安全運動や交通安全教室の取り組みは、警察署等と連携・協力し実施している。

また、地域の交通危険箇所への要望は、生活安全推進室を窓口として受け付け、警察署と連携し、取り組んでいる。

教職員を積極的に登用するなど、さらなる学校現場への人的支援の検討をお願いしたい。

市民協働のまちづくり

問 職員の町内公民館等の加入率が70%ほどという現状を、どのように捉えているのか。

答 大牟田市協働のまちづくり推進条例では、職員に対して地域活動実践に向けた自己啓発に努めることとしている。

職員の役割と認識、自覚を促していく。

いがどうか。

答 ライフサイクルコストまで含め、全体的な考えの中で整理していく。

問 この機会に、親子リズム体操の専用スペースとして設置予定のキッズルームを大幅に拡充し、子どもたちの体力づくりのための屋内運動場にすることを検討してもらいたいがどうか。

答 基本構想・基本計画策定段階で、市民の意見、市の財政も踏まえ、具体的な規模、機能が固まってくると考える。